

宝塚歌劇団卒業生による華麗なレビューショウ!

レビュー・タカラヅカ
「ドリーム・オン！」

メロディ・アンド・メモリー

鳳蘭を中心に麻路さき、星奈優里ら宝塚歌劇団の卒業生による華やかなステージをお届けします。

匠ひびき降板につき、「紫城るい」、「朝澄けい」が代演します。

●とき 6月16日(土)午後6時30分開演

●ところ サンホール

●入場料 S席 6,000円 A席 5,000円

全席指定

※乳幼児(小学校入学前のお子さん)の入場はできません。



残席わずか!

文化プラザ窓口・チケットぴあ電話 0570-02-9999 (Pコード:375-598)

残席状況については、お気軽にお問い合わせください。

また、市ホームページ(アドレス<http://www.city.toki.lg.jp>)でもご覧になれます。

図書館だより

読書の小径

こみち

No.49

市図書館 ☎ 1253



「健康」

健康に関しては、さまざまな情報があふれていて、困るほどです。今回紹介する本で、少し整理できるかもしれません。

五木寛之・帯津良一『健康問答』。水、玄米食、サプリメント、気功、ウォーキング、ホリスティック医療など、混乱する情報の中から、最良の道を選ぶには? 当代随一の名医に作家が本音で迫ります。

小野寺時夫『がんのウソと真実―医者と言いたくて、言えなかったこと―』。35年間にわたって、消化器がんの手術に携わり、がん死を迎える患者2千人以上に接してきた医者が、あいまいにしてきたことをズバリ明かしました。「がん医療は、一部を除けばこの間に進んでいるわけではない」「手術を受けない方が

よかった例は、実はかなり多い」「希望を失わせないため」という考えで、医師さえも効果に疑問をもったまま高度な治療が行われている」「代替療法や、痛みの治療については、かなり誤解されている」「ストレスや性格と発がんの関係は明確ではない」「がんは運命の病気という側面が大さいことを、患者は分かっている」「末期をどう生きるかを大切にしよう」など、耳には痛い、知っていたほうが患者や家族にとって有益な話です。

香山リカ『「悩み」の正体』。「嫌われるのがこわい」「働いても生活できない」「まじめに生きてきたのに」……。競争があおられ、効率性が求められる一方で、「場の空気」を読むことも要求される。心の余裕がどこか失われた現代社会の中で、人々の抱える「悩み」の中身も変わってきてい

6月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

※ が休館日です

図書館の開館時間	火～金曜日	10:00～19:00
	土・日曜日、祝・振休	10:00～17:00



ます。著者は、精神科医としての臨床経験を生かし、現代人の「悩み」の背景を丁寧に解きほぐし、どう向き合おうかを考察します。

※図書館のご利用は無料です。